

千葉商科大学 プレスリリース

第9回 CUC地域連携フォーラム開催 「地域つながり力を持った市民の育成 ～ 大学に期待されることと自治体の取り組み～」

千葉商科大学(学長:原科幸彦)地域連携推進センター(センター長:朽木量)では、2月23日(土)に「地域つながり力を持った市民の育成～大学に期待されることと自治体の取り組み～」と題した「CUC地域連携フォーラム」を開催します。

NPOをはじめとするさまざまな地域活動団体が乱立する一方、作られては消えていく状況にある中で、単に一プレイヤーとして地域社会と繋がるだけでなく、自らが主体的になって地域の多様なステークホルダーを繋げ、それらをファシリテートする力を持った「地域で繋がれる人材」「地域を繋いでいける人材」が必要とされています。他人事や行政任せでなく、地域つながり力を持って主体的に活動する市民の育成について、行政の取り組み事例を紹介しつつ、大学・高等教育機関にできることは何かを考えます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

▶ CUC 地域連携フォーラム

千葉商科大学が地域社会の情報拠点となり、教育資源や研究成果の活用と共に市民の皆さまの経験や知恵を結集して、地域の諸問題の解決策を探る場となっています。地域社会がより豊かで魅力ある街となることをめざした社会貢献活動の一環として、2010(平成22)年度より毎年開催しています。

▶ 千葉商科大学「地域連携推進センター」

さまざまな活動を通して大学と地域社会との連携及び情報発信や地域貢献活動等に努めています。地域を志向した活動を多様に展開し、地域の拠点大学として、地域の人々と「一緒に学び」、「相互にふれあい」、「協働で行う」ことによって「地域が頼れる大学」、「地域と共に生きる大学」をめざします。

第9回 CUC地域連携フォーラム 入場無料

【日 時】 2019年2月23日(土) 14:00～16:30 (13:30開場)

【場 所】 千葉商科大学 本館7階大会議室

【テ ー マ】 「地域つながり力を持った市民の育成～大学に期待されることと自治体の取り組み～」
詳細は別紙チラシをご参照ください。

【定 員】 150名

【問合せ先】

千葉商科大学 地域連携推進センター(学生・地域連携課)

〒272-8512 市川市国府台1-3-1 TEL: 047-320-8667 FAX: 047-373-9958 E-mail: cucr@cuc.ac.jp

第9回 CUC 地域連携フォーラム

検索

90th

高徳の実業人を創る。
千葉商科大学創立90周年

CUC
Chiba University of Commerce

千葉商科大学

www.cuc.ac.jp

第9回 CUC地域連携フォーラム

地域つながり力を 持った市民の育成

～大学に期待されることと自治体の
取り組み～

参加
無料

2019年2月23日(土)
14:00-16:30 [13:30開場]

千葉商科大学 本館7階 大会議室

プログラム

- 地域づくりコーディネーター養成の事例 [鎌ヶ谷市]
- シムもばら2030の事例 [茂原市]
- まつど市民活動サポートセンターの事例 [松戸市] など



【申込方法】大学Webサイトの申込みフォームよりお申込みください。なお、定員となり次第、受付を終了させていただきますので、ご了承ください。

※ 申込みフォームがご利用できない方は、FAXによるお申込みを受け付けます。
①氏名・ふりがな、②連絡先（電話番号及び住所）、③職業 をご記入の上、地域連携推進センター「CUC地域連携フォーラム」係宛にFAX（047-373-9958）でお申込みください。

[同日開催]

地域志向研究助成金2018年度研究報告会

日時 2019年2月23日(土) 9:45-12:55 [9:30開場]
会場 千葉商科大学 本館7階 大会議室

問合せ先

千葉商科大学 本館1階
地域連携推進センター
(学生・地域連携課)

〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
TEL 047-320-8667
FAX 047-373-9958
E-mail cucr@cuc.ac.jp

大学Webサイトはこちら！



地域つながり力を持った市民の育成

～大学に期待されることと自治体の取り組み～

- 14:00 主催者挨拶
朽木 量（千葉商科大学 地域連携推進センター長）
- 14:05 地域連携推進センター活動報告
佐藤 哲彰（千葉商科大学 地域連携推進副センター長）
「地域つながり力を持った市民の育成」に関する報告
- 14:25 趣旨説明
朽木 量（千葉商科大学 地域連携推進センター長）
- 14:45 地域づくりコーディネーター養成の事例
菊池 大樹 氏（鎌ヶ谷市 市民生活部 市民活動推進課）
- 15:05 シムもばら2030の事例
篠田 智仁 氏（茂原市役所）
齋藤 麻由美 氏（シビックテックもばら・UXクリエイター）
- 15:25 まつど市民活動サポートセンターの事例
大石 果菜
（まつど市民活動サポートセンター コーディネーター/千葉商科大学 政策情報学部 学生）
- 15:45 休憩
- 15:55 パネルディスカッション
[進行] 朽木 量（千葉商科大学 地域連携推進センター長） ※16:30終了予定

NPOをはじめとする様々な地域活動団体が乱立する一方、作られては消えていく状況にある中で、単に1プレイヤーとして地域社会と繋がるだけでなく、自らが主体的になって地域の多様なステークホルダーを繋げ、それらをファシリテートする力を持った「地域で繋がれる人材」「地域を繋いでいける人材」が必要とされています。

他人事や行政任せでなく、地域つながり力を持って主体的に活動する市民の育成について、行政の取り組み事例を紹介しつつ、大学・高等教育機関に出来ることは何かを考えます。

[同日開催] 地域志向研究助成金2018年度研究報告会

- 9:45 主催者挨拶
朽木 量（千葉商科大学 地域連携推進センター長）
- 9:50 千葉県における古道の調査・研究
鈴木 孝男 氏（古道歩き研究会 代表）
- 10:20 千葉県における農家民宿・民泊の現状と普及拡大の可能性
山田 耕生（千葉商科大学 サービス創造学部 准教授）
- 10:50 市川と本阿弥光悦 一なぜ、本阿弥光悦は中山法華経寺に分骨されたのかー
枡岡 大輔（千葉商科大学 CUC市川研究機構 専任講師）
- 11:20 小学生を対象にした「考える」が生まれる体育用プログラム（オノタケ式）の実践
～指導経験の少ない指導者での指導成果の検証～
下嶽 進一郎（千葉商科大学 体育センター 助教）
- 11:50 江戸・明治期における行徳神輿の製作と供給地域に関する研究
田中 祥一 氏（水運ネットワーク 代表）
- 12:20 市川市における、プレーパークの平日開催におけるニーズの把握
和田 京子 氏（市川子どもの外遊びの会 代表）
- 12:50 講評
佐藤 哲彰（千葉商科大学 地域連携推進副センター長）

2019年度
申請受付中！

2019年度募集より、助成金の名称が「地域志向研究助成金」から「地域志向活動助成金」に変更となりました。助成金制度の詳細及び募集要項については本学Webサイトよりご確認ください。